



今夏にふ化したニホンイシガメの子ガメ

【杵築】日本の固有種「ニホンイシガメ」の保護活動に取り組む杵築市山香町野原の美術工房経営、工藤清さん(79)は、自宅で繁殖させた子ガメの飼い主を募っている。昨年まで希望者に

## ニホンイシガメ 飼育しませんか

転売防止、今年は有料で提供

工藤さん(山香町)



長年、ニホンイシガメの繁殖に取り組む工藤さん＝杵築市山香町

無料で引き渡していたものの、インターネットで1万円以上の高額転売するケースが発生。今回から有料(1匹3千円)での提供に切り替えた。

ニホンイシガメは本州から四国、九州に分布している。ただし、外来種との交雑や自然環境の変化で個体数は減少。国は準絶滅危惧種に指定している。

工藤さんは自ら飼育するようになったのを機に、2007年から保護活動の一環として繁殖させた子ガメを飼育する人を募ってきた。今年も8月からふ化が始まり、現在、体長3〜4センチ程度の子ガメ約30匹が成育。猛暑のため餌を食べる量が少なく、全体的に小さめという。

転売防止を目的に販売形式で提供するため、小動物飼養販売管理士の資格も取得した。工藤さんは「イシガメは日本の貴重な固有種。引き取った人は大事に育ててほしい」と話した。申し込み、問い合わせは工藤さん(0977・75・2026)。(吉田正史)

〔問①〕 杵築市の工藤さんは日本固有種のカメの保護活動に取り組んでいます。そのカメの名前はなんですか。

〔問②〕 そのカメは国の準絶滅危惧種に指定されていますが、どの地域に生息していますか。

〔問③〕 昨年まで希望者に無料で引き渡していたカメを、今回から有料にしたのはなぜですか。

〔問④〕 ペットを飼っている人はそのペットの好きなところは何ですか。飼っていない人は飼ってみたいペットは何ですか。